

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイNEST		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 吉日		2026年 3月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 吉日		2026年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 45
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>医療的ケアの物品が多い中でも、安全に医療的ケアを行う事の出来るスペースや活動スペースを確保しています。</p> <p>医療的ケアが多い利用児様に対しても、より多くのスタッフが対応できるように1・3号の研修を進めています。 (2026.3現在1号研修取得23名 看護職員14名)</p> <p>医療的ケアの有無(多い少ない)に関わらず、1日の利用人数を定員内で制限することなく受け入れ可能となっています。</p>	<p>当日の利用児様の人数や医療的ケアの内容に応じて毎日ベッドや医療的ケアに必要な物品の配置を検討することで、安全に医療的ケアを行う事のできるスペースや活動のスペースを確保しています。</p> <p>看護師のみでなく、喀痰吸引等第1号・第3号研修による資格取得、各利用児様に合わせた1日の対応方法やケア内容を1枚の用紙にまとめることで、スタッフが確認しながら様々な利用児様の対応ができるようにしています。</p>	<p>喀痰吸引等第1号・第3号研修による資格取得を正社員・パート職員に関わらず進め、そのリスクを理解し安全に行うことができるよう、さらなる研修等にも力を入れていきます。</p> <p>新しい職員さんでも安心・安全に利用児様と関わることができるよう、各種マニュアルの作成を行います。</p>
2	<p>事業所内でのイベントを多彩に開催しています。</p> <p>毎月開催しているフラワーアレンジメント、リトミック、ミュージック・ケアの開催や、不定期開催のヘアカットに加え、利用児様とご家族様を対象とした運動会や花火大会、畑の収穫イベントを開催しています。</p> <p>他事業所や地域との交流イベントとしても畑の苗植えや収穫のイベントを開催しています。</p> <p>事業所外へのお出かけとして、水族館やショッピングモール、いちご狩りへ行っています。</p>	<p>イベントのお知らせの際には、毎回チラシの作成と配布、Googleフォームの活用、事業内通信に加え、SNSを使用し周知を行っています。報告も同様に事業内通信とSNSを使用しています。個人情報の観点より事業所内通信やSNSでご様子を見られない保護者様もいらっしゃるため、ご利用児様の保護者様個人へLINEにて写真を添付し、活動の様子をご覧いただけるようにしています。来年度には保護者様向けにアプリを使用した写真掲載や活動報告を行っていく予定です。</p>	<p>全ての利用児様の保護者様にイベントの周知をして頂けるように、計画的にイベントの周知を行っていきます。</p> <p>これまで通り、事業所内通信、SNSでの周知に加え、利用児様の保護者様の集うLINEグループでの周知も同時に行っていきます。それに向け、利用開始時にLINEグループへの招待を行います。</p> <p>各イベントに一人でも多くの利用児様に参加して頂けるようイベント期間を1週間程設けるようにしたり、外食時に形態食の提供が行えるように準備をしていきます。</p>

3	<p>直接保護者様とお話をすることでニーズを明確にするとともに、より良い関係を築くために対面での面談を半年おきに行っています。</p>	<p>職員と保護者様との面談の機会を半年に1度設けさせていただく事でよりニーズに沿った計画が作成できるようにしています。</p> <p>面談の際には、お預かり物品の交換や基本情報の確認に加え、保護者様の希望に応じて施設内の見学を行っています。時間にゆとりをもって面談を行う事を心がけています。</p>	<p>直接顔を合わせて面談をできる事がベストですが、体調不良や予定が合わず対面での面談が行えないこともありました。</p> <p>より利用児様や保護者様のニーズを受け取れるように顔を合わせての面談が行っていきけるよう調整を行ってまいります。</p> <p>保護者様のお仕事の事情等により、電話での面談も行わせていただきました。</p>
---	---	--	---

	<p>事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>伝えた事の共有ができていない、支援の内容に対して具体的に理解できない、状況の説明不足等のご意見をご家族様より頂きました。</p>	<p>出勤・退勤時間にばらつきが大きい中での情報共有に難しさを感じる場面があります。ノートやLINEにて情報を残すようにしていても送迎時には間に合わず対応が難しい事も多々あります。</p> <p>新規の利用児様が増える中で、信頼関係の構築にも時間を要している期間であると感じています。</p>	<p>出勤や退勤時間にばらつきがある中での情報共有は難しい面はありますが、ノートやLINE、運営会議を活用し、保護者様からの情報に漏れがないように心がけていきます。一つ一つのコミュニケーションを大切に、丁寧な関わりを持つことで、保護者様からの信頼関係を築いていけるように又、個別支援計画と現場をより近いものにしていきます。</p>
2	<p>非常時、災害時の対応について、研修や日々行っている災害物品の確認についてスタッフ間での共有、保護者様への情報発信が少なかったです。</p>	<p>行政との取り組みの中で、指定福祉避難所のお話を頂き何度も話し合いを重ねていました。その中で、災害時1番必要となる電源の確保が、当事業所の力のみでは難しいと感じました。</p> <p>災害という難題に対し模索していることで、スタッフや保護者様への共有、情報発信が少ない状況となりました。</p>	<p>様々な話し合いを通し難しいことではありますが、出来る事から始めていこうと、スタッフと保護者様が一緒に防災イベント開催に取り組み、意見交換や情報共有をしていけるように努めていきます。</p>

3	送迎時、送迎車からバギー、車いすを降ろす際に上手くロック解除ができておらず、見ていて危なかったとのご意見を保護者様から頂きました。	送迎車が増えたことありますが、車種によってロック固定の方法が異なること、お一人お一人のバギーや車いすの種類が異なるので、ご本人に合わせたロック位置等を都度確認し、安全な送迎に繋げていくことが大事であると感じています。	現在、全職員に向けてLINEWORKSを活用し、各送迎車の操作マニュアルを閲覧できるようにしています。また、毎月の委員会にて安全な送迎について日々勉強を行っています。大型車両（ハイエース、キャラバン）の運転に不安がある職員には外部の安全運転講習が受講できるよう、準備を進めています。
---	---	--	---